

沖縄タイムス  
平成24年8月24日(金)

# 賃貸工場5社決定

## うるま物流拠点集積地

県は23日、うるま市の国際物流拠点産業集積地（旧・特別自由貿易地域）に来年度

完成する賃貸工場に入居する企業5社を公表した。東証1部上場企業で、飲料用充填

装置製造大手の澁谷工業（金沢市）を中心に、同社の業務を請け負う関連企業4社が進出する。同地域への上場企業進出は初めて。

関連4社は、金属部品加工のアルモワールド（山口県）、製造用機械の部品をつくる池

田精工（岡山県）、耐熱性が高いエンジンアリンクアブラスチックや高機能樹脂などを製造する北調工業（金沢市）、アルミニウムの金型鋳造製品をつくる東海精機（三重県）。

各社とも県内を拠点とした新たな生産体制を築き、出荷を拡大する。

澁谷工業は昨年12月、県内進出企業で液晶テレビや電子部品などをつくるOMJP（うるま市、矢野定雄社長）を完全子会社化。海外への輸出割合が5、6割を占める半

導体製造装置の組み立て事業や、透析装置製造の一部を金沢の本社工場からOMJPへ移管している。

来年度入居予定の新工場では、飲料用充填装置や半導体製造装置に使う部品などを加工する予定。